

第5章 松山遺跡第49地点の調査

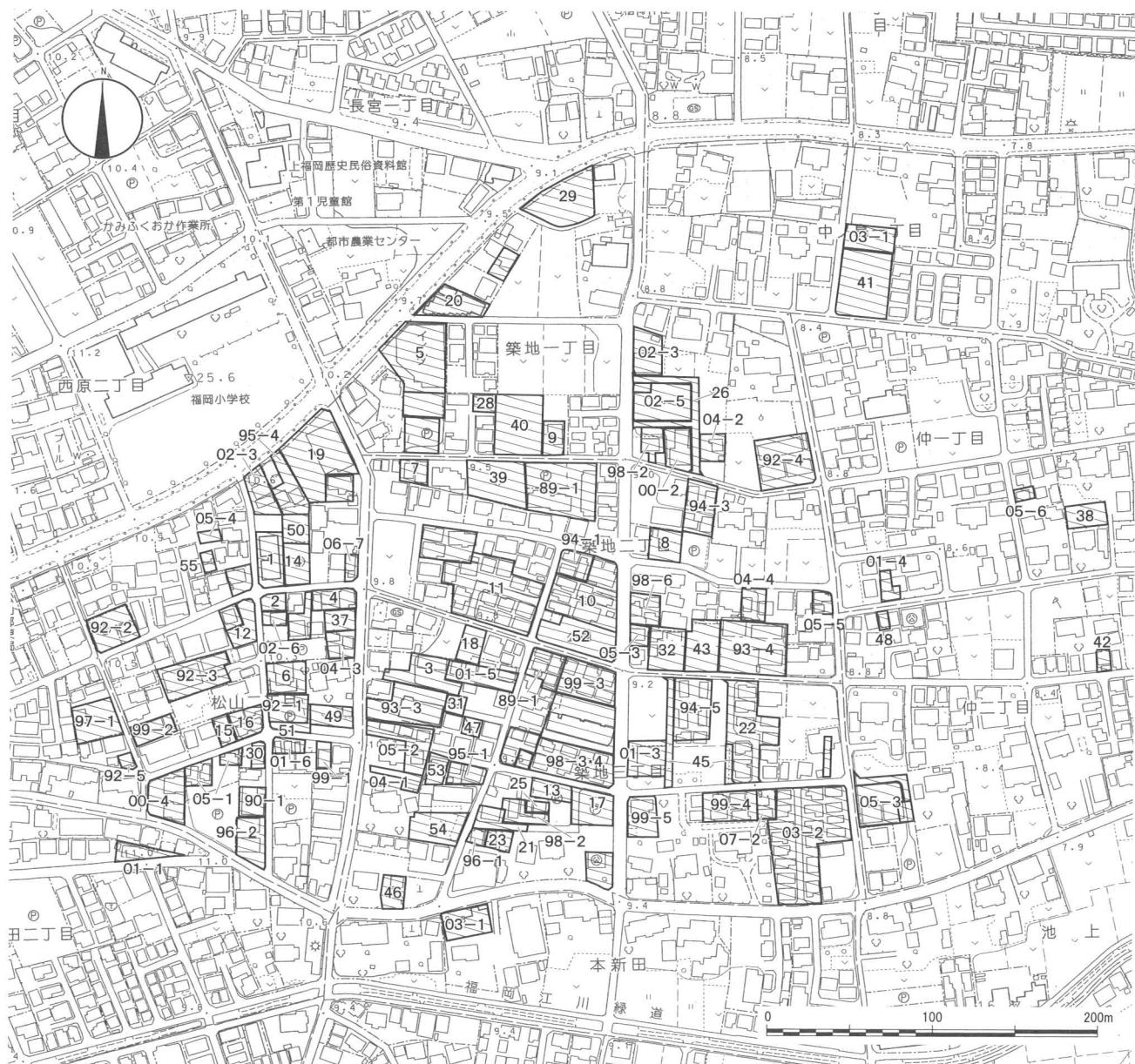
I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武藏野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9~10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畠が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期~後期、飛鳥時代および中・近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南

東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより約100ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中・近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝・井戸等の中・近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行なった。



第24図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2009年9月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、申請者と協議の結果、遺構等の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年10月19日から22日まで行なった。幅約2mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行ない、住居跡、土坑、溝等を確認した。遺跡確認面までの深さは約40cmで、遺跡への影響が避けられないため申請者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。本調査は2009年10月27日から11月18日まで行ない、8世紀後半住居跡1軒、井戸1基、溝2本等を検出した。なお、旧石器時代の確認調査は行なっていない。

III 遺構と遺物

①H36号住居跡

【位置・形状・規模】調査区の中央部に位置する。

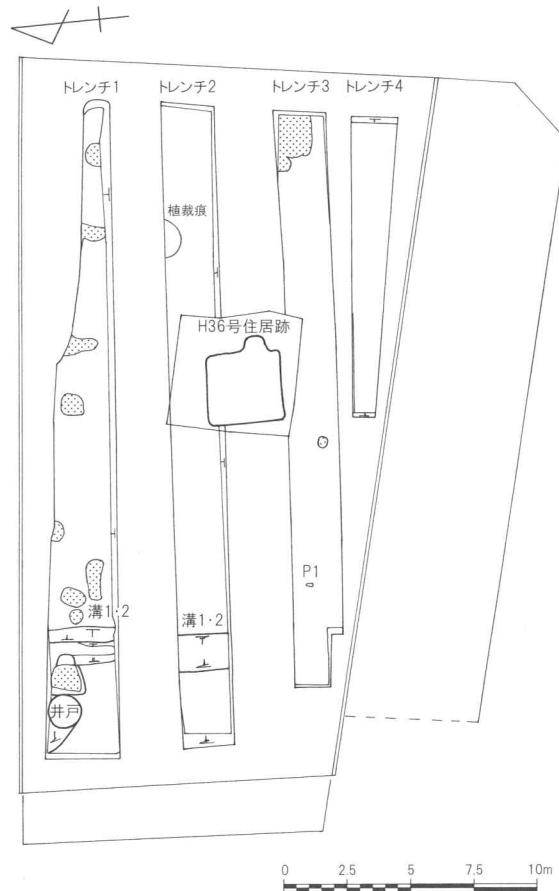
主軸方位はN-92°-Eのほぼ真東である。平面形は正方形で、規模は主軸が東西2.8m、南北2.9mである。深さは確認面から40~45cmである。

【竈】東壁のやや南寄りに位置し、暗灰褐色の粘土で構築される。天井部は崩落し袖の一部が残存し内部は良く焼け焼土面が残る。焚口から煙道端までの長軸105cm、袖部の最大幅100cmである。竈内部は幅73cm、焚口は幅50cm奥行き62cmで床面からの深さ12.5cm。

【鍛冶炉・土坑1・ピット1】鍛冶炉は住居内のほぼ中央部に位置する。炉の東側にピット1、西側に土坑1が位置し、鍛冶炉に関係する施設と考えられる。

鍛冶炉の火床内は、十字状に溝状の窪みがあり南側にのびる溝からは羽口が出土する。羽口装着部分周辺（炉南側半分）の炉壁は、灰褐色の粘土で構築され残存状況も良好である。炉の南側部分には羽口が多く、炉内北側から東側には崩れた炉壁が多く出土する。また炉の東側には炉内からかき出されたと思われる炭化物が多く出土し、土坑1周辺と特にその南側には鍛造剥片が多く出土する。火床の規模は長軸（南北）30cm×短軸（東西）30cm、床面からの深さは27cmである。掘り方を含めた規模は南北132cm、東西76cmの不整形を呈する。羽口の装着跡とみられる溝は鍛冶炉の南側に位置し、幅6~8cmである。

土坑1の平面形は楕円形で、規模は南北57cm×東西74cm深さは床面から27cmである。



第25図 松山遺跡第49地点遺構配置図 (1/300)

ピット1の平面形は不整形で、規模は南北47cm×東西40cm深さは床面から12cmである。

【貼り床・周溝】周溝は検出部の住居跡全体に巡っている。上幅10~23cm、下幅4~10cm、深さ9.3~21cmである。床面は中央部が地山ローム面で、ドーナツ状に四隅と周溝部分に貼床がみられる。

【遺物出土状況・時期】鍛冶炉内とその周辺、土坑周辺、南東隅の床面上に遺物の集中がみられる。出土遺物については第11表のとおりである。8世紀後半。

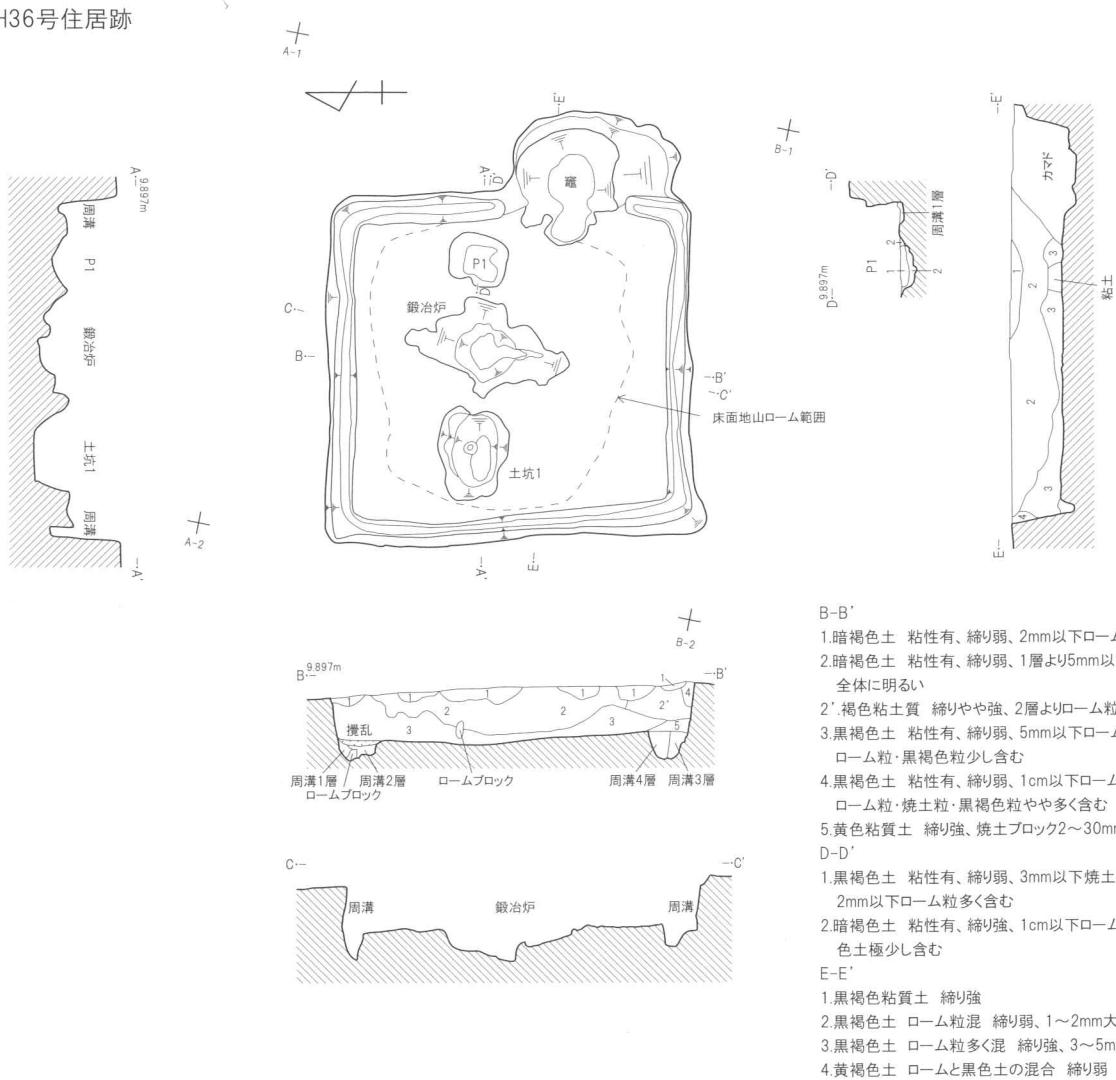
②井戸

調査区の北西端に位置する。平面形態は円形で、規模は確認面径約1.4m、底径84~98cm、深さは地表面から約1.234mである。

③井戸・遺構外出土遺物

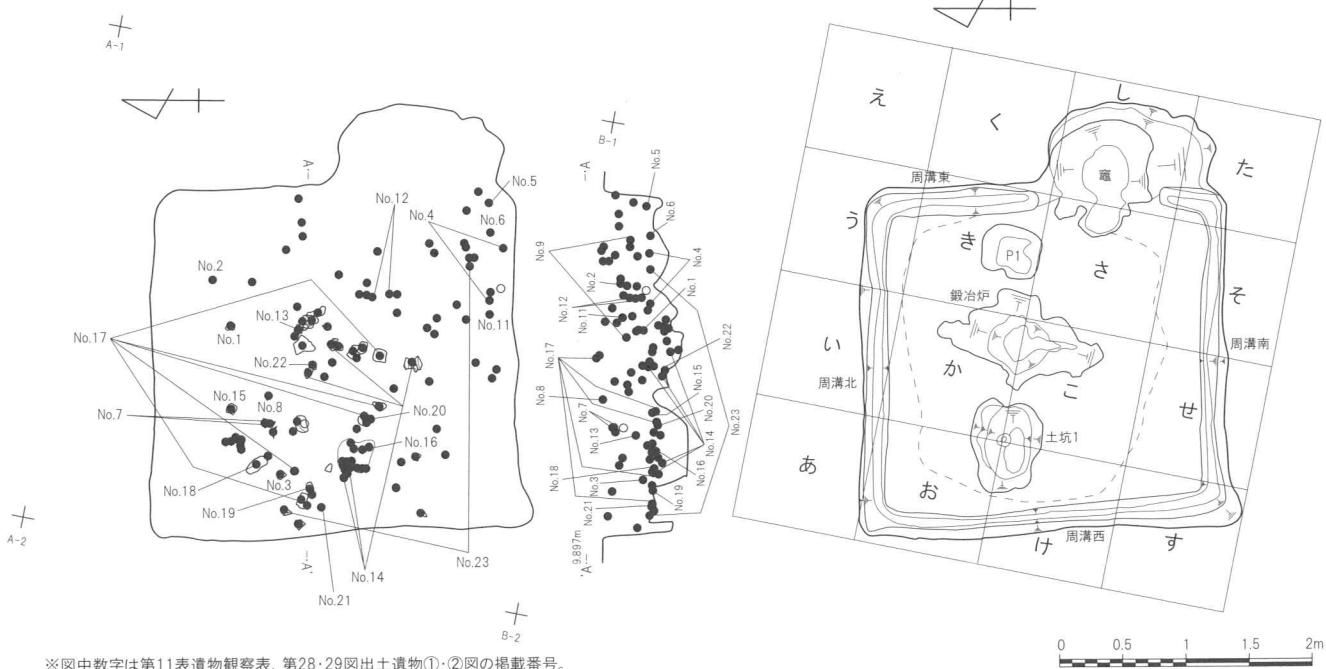
1は須恵器底部で回転糸切りと範削りで海綿骨針を含む。2は無節縄文、3は2と胎土が同じだが施文不明。4は細い半截竹管の押し引文、5は半截竹管の沈線と刺突による隆起を施す。6は土師器台付甕の胴から脚部の接合部で撫でを施す。1~6は奈良時代、2~3は縄文時代早期から前期か、4~5は縄文時代前期末とみられる。

H36号住居跡



遺物出土状況

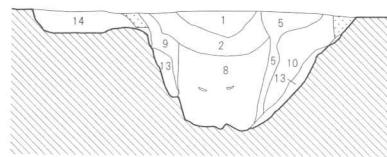
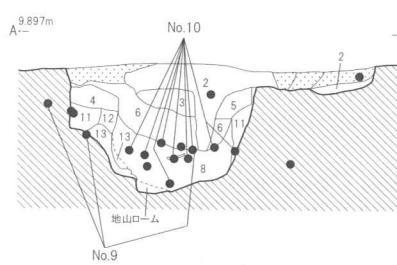
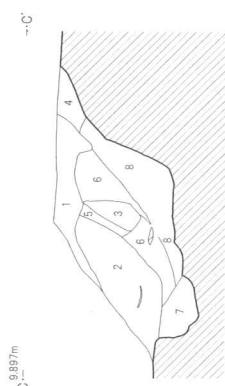
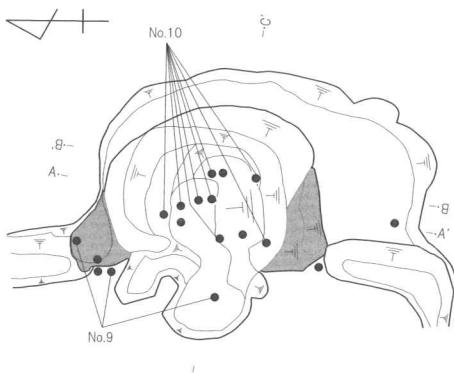
小グリッド設定図



※図中数字は第11表遺物観察表、第28・29図出土遺物①・②図の掲載番号。

第26図 松山遺跡第49地点H36号住居跡・遺物出土状況図・小グリッド設定図 (1/60)

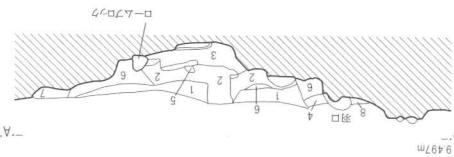
竈



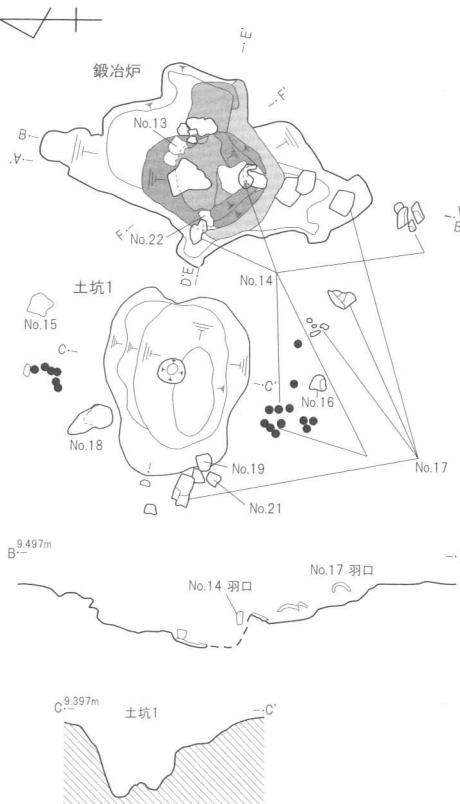
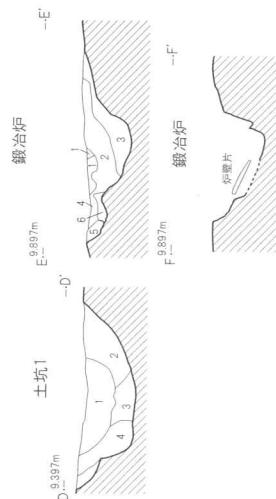
竈

1. 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒・焼土粒少し含む
1cm大シミ状ローム粒極少し含む
2. 黒褐色土 粘性有、締り強、2mm以下ローム粒・焼土粒多く含む、5mm大炭化物少し含む
3. 暗褐色土 粘性有、締り強、褐色の粘性強いロームブロック
4. 暗褐色土 粘性有、締り弱、ローム主体で1cm以下シミ状黒褐色土斑状に多く含む
5. 暗褐色土 粘性有、締り弱、2層主体にシミ状に暗褐色土の3層を多く含む
6. 暗赤褐色土 粘性有、締りやや強、全体に焼土が多く赤褐色を呈する
7. 暗褐色土 粘性有、締りやや強、1cm以下褐色ロームをブロック状に多く含む、5mm以下シミ状黒褐色土少し含む、焼土含まない
8. 暗褐色土 粘性有、締りやや強、1cm大ローム・焼土ブロック少し、2mm以下焼土粒少し、同シミ状ローム極少し含む
9. 暗灰褐色土 粘性有、締り強、3mm大焼土少し、2mm大シミ状炭化物極少し含む
10. 暗褐色土 粘性有、締り強、ロームベースに3mm以下シミ状焼土、炭化物少し、1cm以下ロームブロック少し含む
11. 黒褐色土 粘性有、締り強、黒褐色土主体に2cm大ロームブロック多く含む、焼土・炭化物含まない
12. 暗褐色土 粘性有、締り強、竈粘土で3mm以下シミ状焼土多く含む、竈内面燃焼面
13. 暗褐色土 粘性有、締り強、竈粘土・構築土、3mm以下シミ状焼土少し含む
14. 黒褐色土 粘性有、締り強、2mm以下ローム粒多く含む

鍛冶炉



鍛冶炉掘方

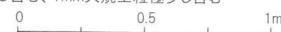


1. 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒多く、1mm以下焼土粒・炭化物極少し含む
2. 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒多く、同焼土粒少し、5mm以下炭化物少し含む
3. 黒褐色土 粘性有、締り弱、全体にシミ状炭化物多く黒色を呈する、5mm以下シミ状・ブロック状炭化物多く、2mm以下シミ状焼土少し含む
4. 黒褐色土 粘性有、締り強、2cm以下焼土・ロームブロック多く含み、1mm以下ローム粒多く含む、黒褐色土を多く含む
5. 黒褐色土 粘性有、締り強、黒褐色土と暗褐色土を斑に含み、2mm以下ローム粒多量含む
6. 暗褐色土 粘性有、締り強、ローム主体でシミ状黒褐色土少し含む、上層に5mm以下シミ状焼土極少し含む
7. 暗褐色土 粘性有、締り強、5mm以下ローム多量に含み、2mm以下炭化物極少し含む

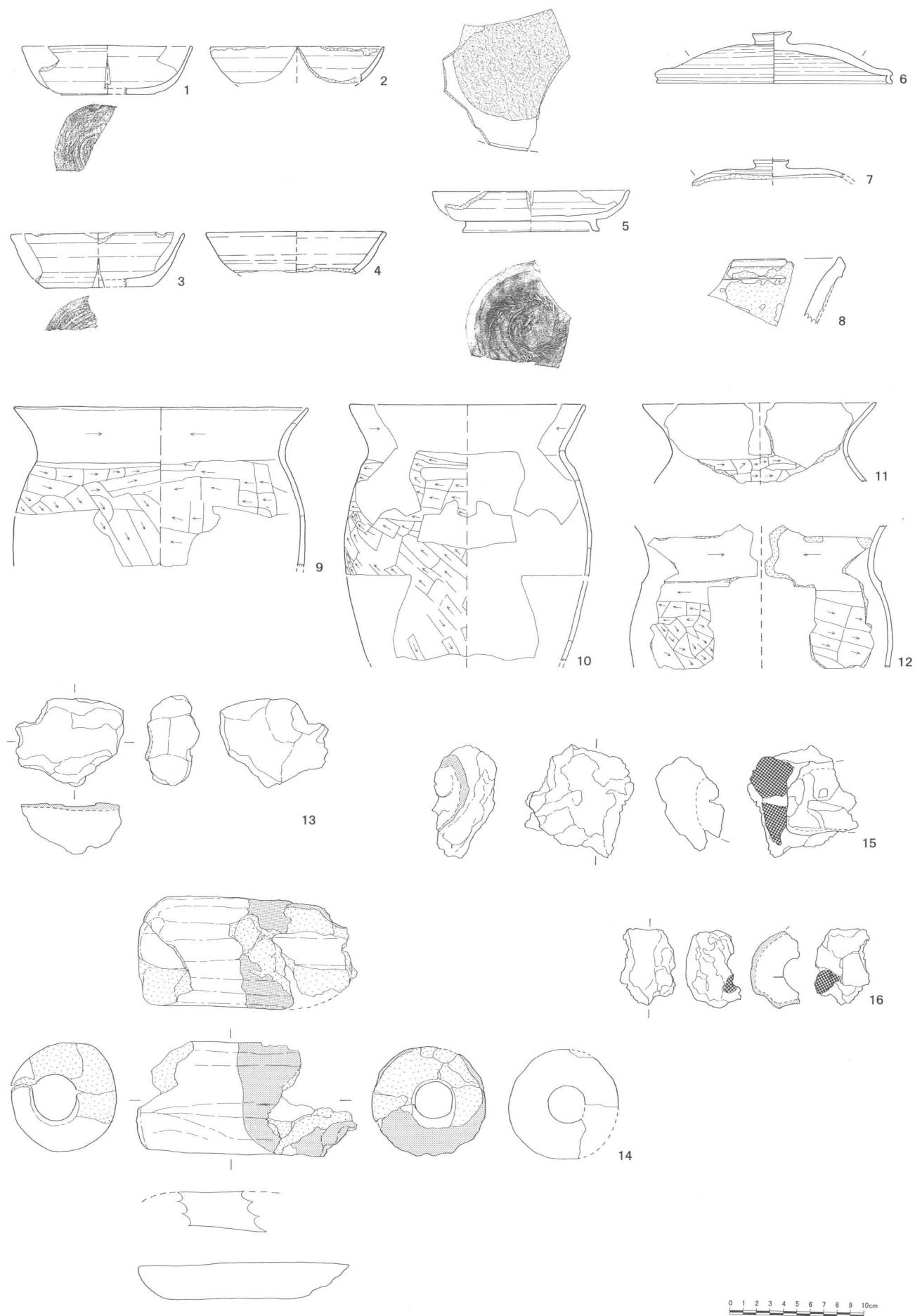
土坑1

1. 黒褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒多量に含む
2. 黒褐色土 粘性有、締り弱、1cm大ロームブロック少し、2mm以下ローム粒多く含む
3. 暗褐色土 粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒多量に含む
4. 暗褐色土 粘性有、締り弱、ローム主体に1cm以下シミ状黒褐色土少し含む、1mm大焼土粒極少し含む

*図中数字は第11表遺物観察表、第28・29図出土遺物①・②の掲載番号。



第27図 松山遺跡第49地点H36号住居跡竈・鍛冶炉 (1/30)



第28図 松山遺跡第49地点 H36号住居跡出土遺物① (1/4)



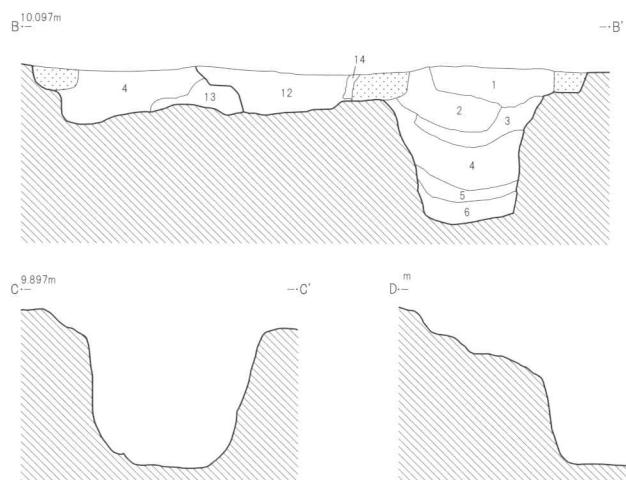
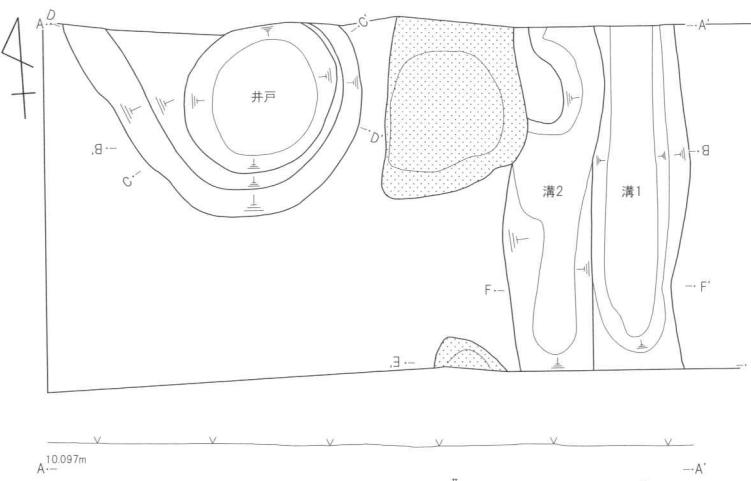
第29図 松山遺跡第49地点H36号住居跡出土遺物② (1/4)

⑤溝

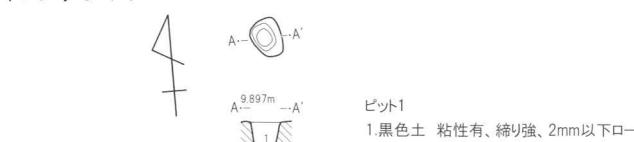
溝は井戸より新しく芋ビツ等の可能性もある。溝1

は上幅60~77cm、下幅32~87cm、深さ44.5cm、溝2の上幅58~71cm、下幅26~56cm、深さ19.6cm。

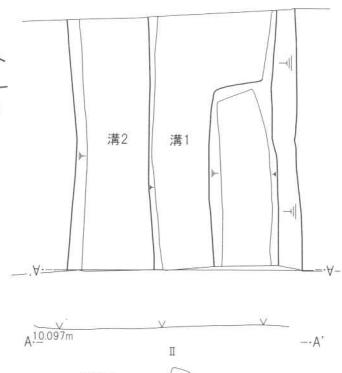
トレンチ1 井戸、溝1・2



トレンチ3 P1



トレンチ2 溝1・2



トレンチ1 井戸、溝1・2

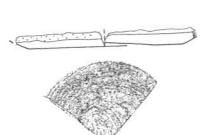
- II. 黒色土 粘性有、繊り弱、表土 耕作土
- 1. 黒色土 粘性有、繊りやや強、2mm以下ローム粒少し含む
- 2. 黒褐色土 粘性有、繊りやや強、2cm以下ロームブロック多く含む
- 3. 黒褐色土 粘性有、繊りやや強、2cm以下シミ状暗褐色土少し、5mm以下ローム粒少し含む
- 4. 黒褐色土 粘性有、繊りやや強、2層に同じ、ややロームブロックがシミ状を呈す
- 5. 暗褐色土 粘性有、繊りやや強、ロームブロック主体に黒褐色土をシミ状に少し含む
- 6. 黒褐色土 粘性有、繊りやや強、4層に類似、ロームブロック少し、2cm以下シミ状ローム多く含む
- 7. 暗褐色土 粘性有、繊り強、顆粒状ローム主体にシミ状黒褐色土少し含む
- 8. 黒褐色土 粘性有、繊りやや弱、1cm 大ロームブロック少し、2mm以下ローム粒多く含む
- 9. 黒褐色土 粘性有、繊りやや弱、1cm大ロームブロック極少し、2mm以下ローム粒多量に含む
- 10. 黒褐色土 粘性有、繊り強、3cm以下ロームブロック少し、2mm以下ローム粒少し含む
- 11. 暗褐色土 粘性有、繊り弱、やや汚れたローム主体に1cm大ロームブロック極少し、1mm大ローム粒少し含む
- 12. 黒褐色土 粘性有、繊り弱、5cm以下ロームブロック多く含む
- 13. 黒褐色土 粘性有、繊り弱、10cm大ロームブロック主体に黒褐色土少し含む
- 14. 褐色土 粘性有、繊り弱、ローム(ブロック状)

トレンチ2 溝1・2

- II. 黒色土 粘性有、繊り弱、表土 耕作土
- 1. 黒褐色土+暗褐色土 粘性有、繊り弱、ロームブロック・粒多く含む
- 2. 黒褐色土 粘性有、繊り弱、ローム粒含む
- 3. 黒褐色土+暗褐色土 粘性有、繊り弱、シミ状ローム、ロームブロック含む
- 4. 黑褐色土 粘性有、繊り弱、ローム粒含む
- 5. 黑褐色土 粘性有、繊り弱、ローム粒含む(2・4層より多い)
- 6. 黑褐色土+暗褐色土 粘性有、繊り弱、シミ状ローム、ロームブロック含む



井戸

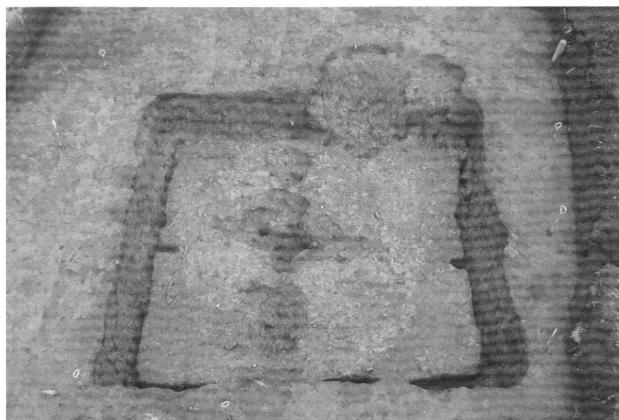


遺構外

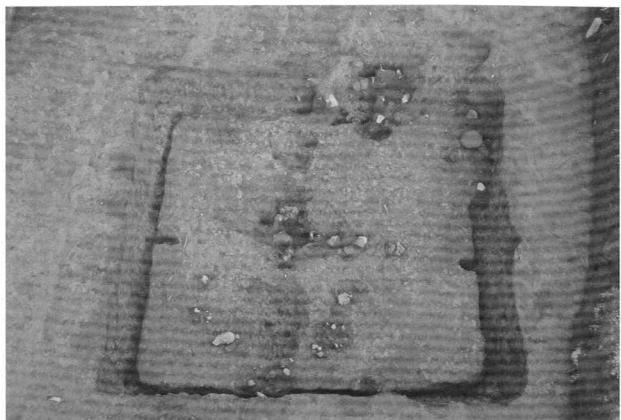


第30図 松山遺跡第49地点井戸・溝・ピット (1/60)、井戸・遺構外出土遺物 (1/4)

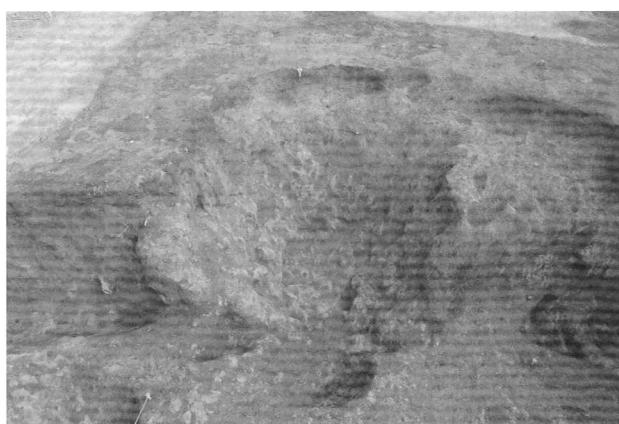
松山遺跡第 49 地点 (1)



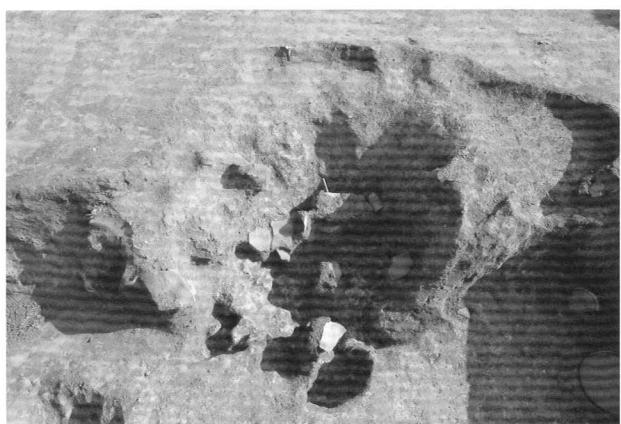
松山遺跡第 49 地点 H 36 号住居跡



松山遺跡第 49 地点 H 36 号住居跡遺物出土狀況



同上 H 36 号住居跡竈



同上 H 36 号住居跡竈遺物出土狀況



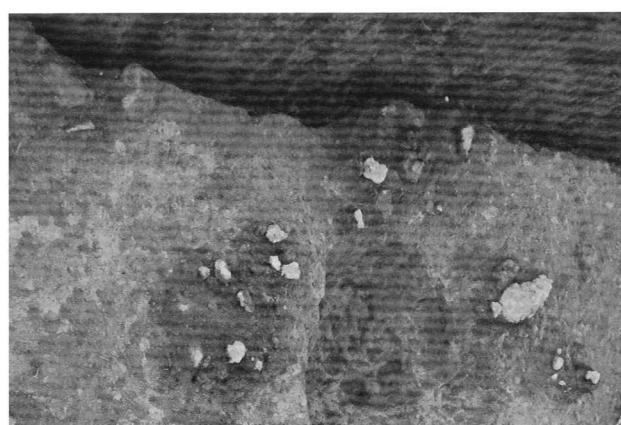
同上 H 36 号住居跡鍛冶炉



同上 H 36 号住居跡鍛冶炉遺物出土狀況

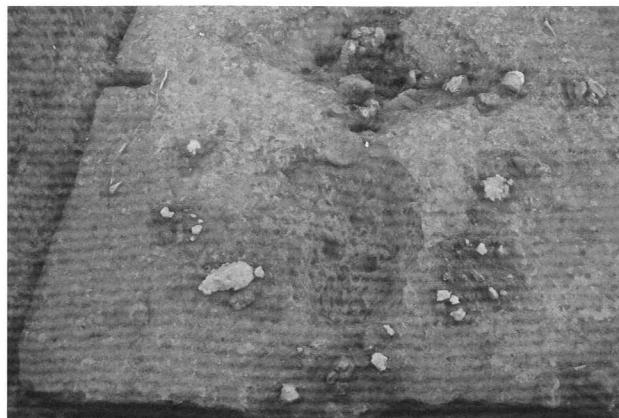


同上 H 36 号住居跡鍛冶炉遺物出土狀況

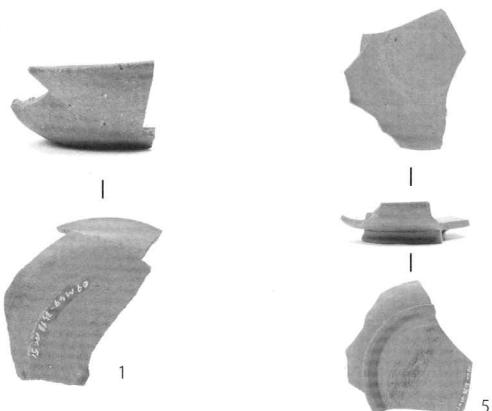


同上 H 36 号住居跡遺物出土狀況

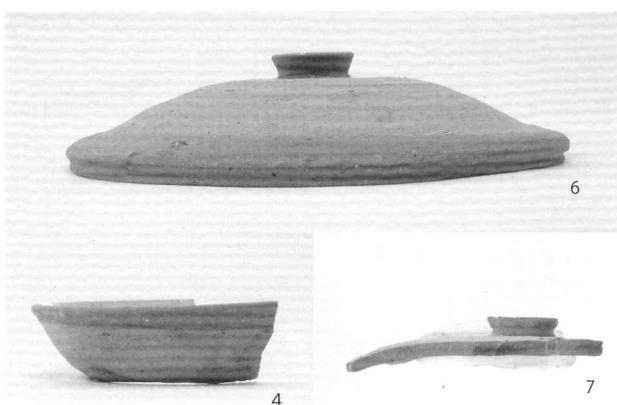
松山遺跡第49地点(2)



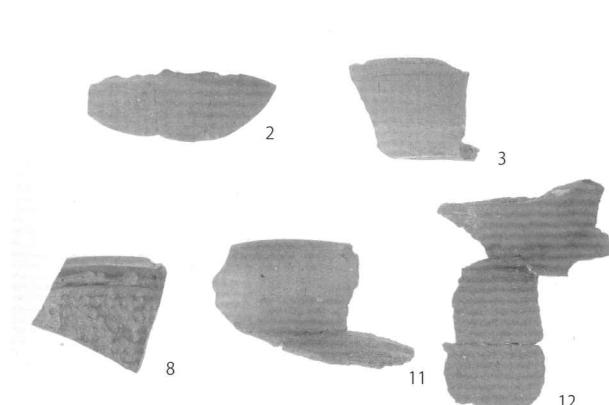
松山遺跡第49地点H 36号住居跡遺物出土状況



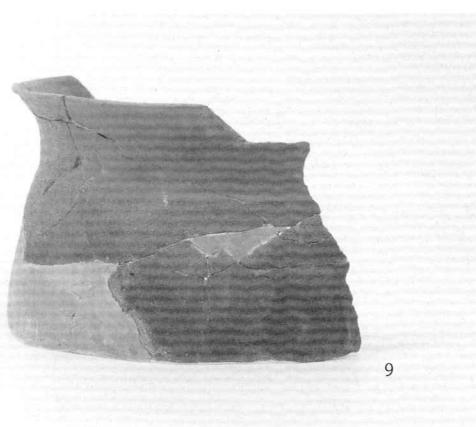
松山遺跡第49地点H 36号住居跡出土遺物 No.1・5



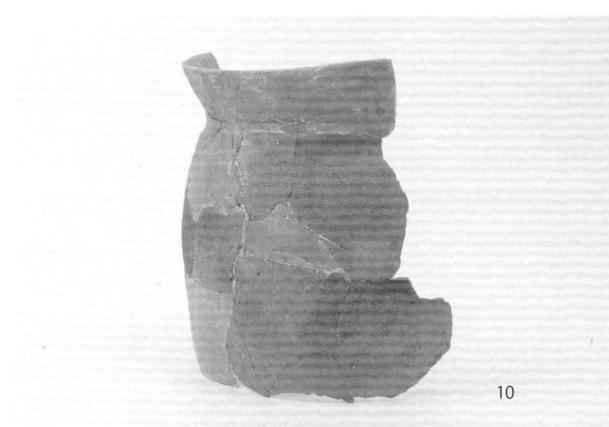
同上 H 36号住居跡出土遺物 No.4・6・7



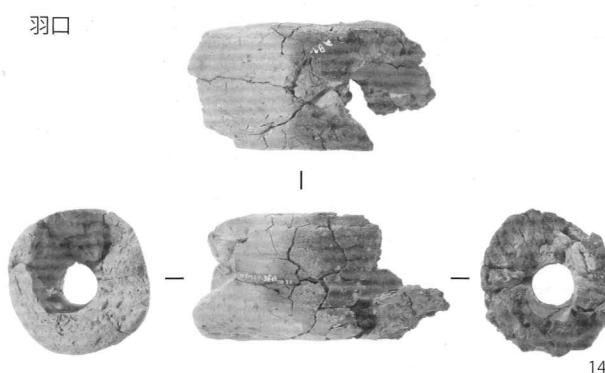
同上 H 36号住居跡出土遺物 No.2・3・8・11・12



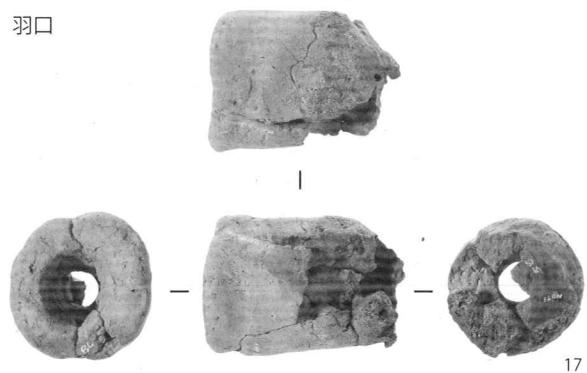
同上 H 36号住居跡出土遺物 No.9



同上 H 36号住居跡出土遺物 No.10

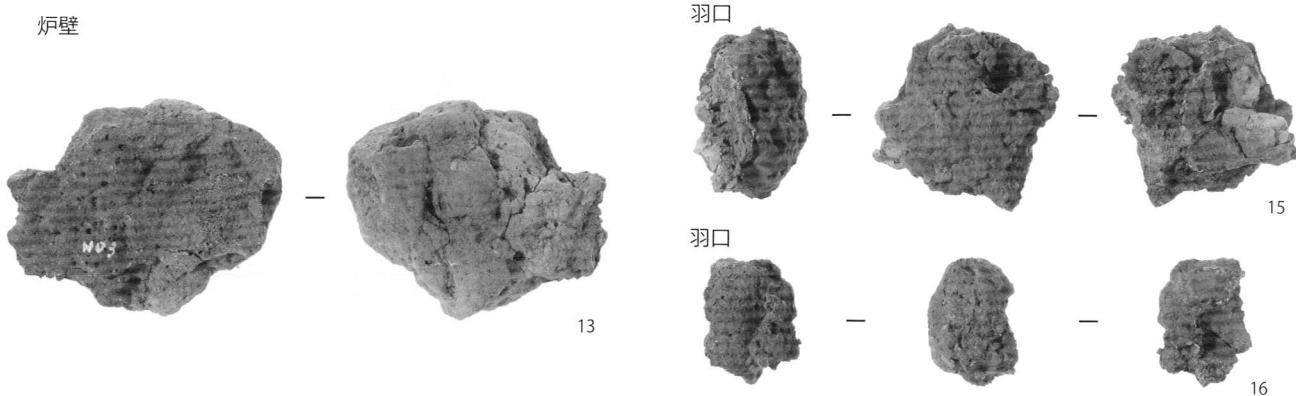


同上 H 36号住居跡出土遺物 No.14

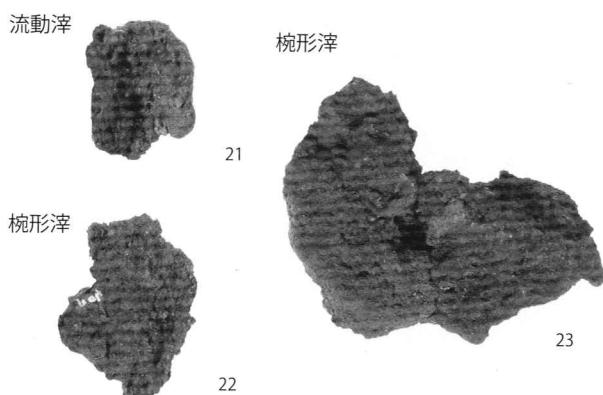


同上 H 36号住居跡出土遺物 No.17

松山遺跡第49地点(3)

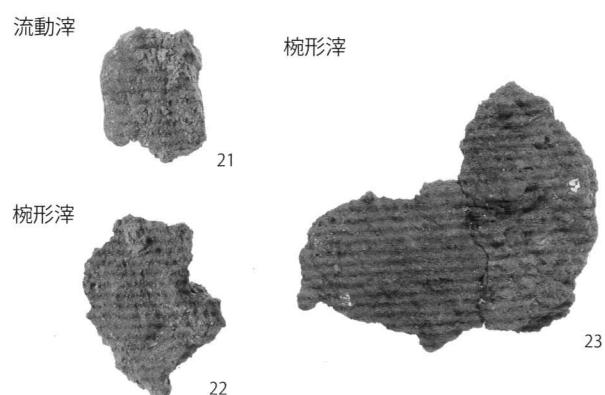


松山遺跡第49地点H36号住居跡出土遺物No.13



同上 H36号住居跡出土遺物No.21～23表面

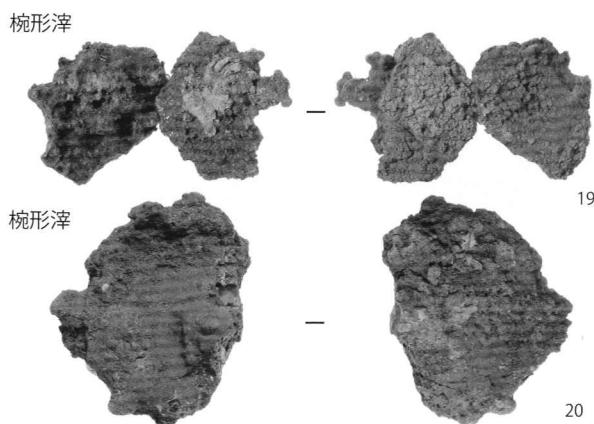
松山遺跡第49地点H36号住居跡出土遺物No.15・16



同上 H36号住居跡出土遺物No.21～23裏面

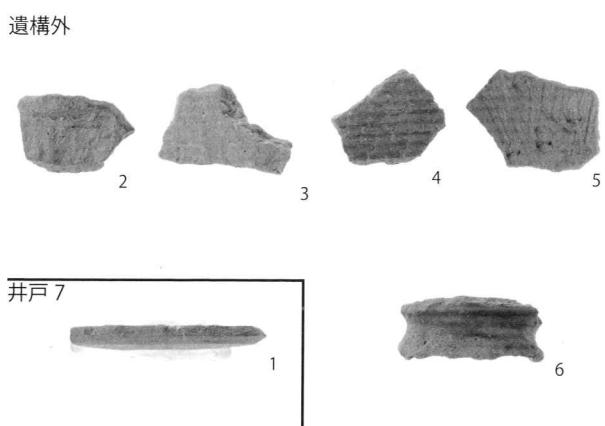


同上 H36号住居跡出土遺物No.18表面



同上 H36号住居跡出土遺物No.19・20

同上 H36号住居跡出土遺物No.18裏面



同上 井戸7・遺構外出土土器No.1～6